

議会だより

みほ

2017.5.1

No. 117

茨城県美浦村議会

<http://www.vill.miho.lg.jp/gikai/index.htm>

域交流館みほふれ愛プラザ竣工式

ついに完成「みほふれ愛プラザ」
竣工式(3月26日)

平成29年第1回定例会 ②

平成29年第1回臨時会 ④

一般質問 ⑦

視察報告 ⑬

議会報告会 ⑭

議員活動 ⑯



平成 29 年第 1 回定例会

平成 29 年第 1 回定例会は、3 月 6 日から 17 日までの 12 日間の会期で行われました。

今定例会では、村長から村道路線廃止・認定、条例改正、指定管理者の指定、平成 28 年度補正予算、平成 29 年度予算の 25 議案が提出され、審議の結果、すべての議案が原案のとおり可決されました。

また、議員からは条例改正が提出され、原案のとおり可決されました。

一般質問は 14 日に行われ、6 人の議員が登壇し、村政全般にわたり質問がなされました。

平成 29 年度予算 予算総額 104 億 8,015 万 1 千円を可決 (前年度比 4.2%減)

平成 29 年度予算（案）を審査するため、「予算審査特別委員会」を設置しました。
3 月 13 日・15 日の 2 日間、一般会計、特別会計、企業会計 8 会計の審議を行いました。

審議の結果、8 会計すべてが可決されました。

区 分	平成 29 年度予算額	平成 28 年度予算額	増減率
一 般 会 計	54 億 5,300 万円	59 億 5,700 万円	△ 8.5%
特 別 会 計	43 億 930 万円	42 億 7,670 万円	0.8%
国民健康保険	21 億 4,780 万円	21 億 6,170 万円	△ 0.6%
農業集落排水事業	1 億 6,180 万円	1 億 6,390 万円	△ 1.3%
公共下水道事業	8 億 2,700 万円	8 億 5,460 万円	△ 3.2%
介護保険	10 億 4,450 万円	9 億 7,610 万円	7.0%
後期高齢者医療	1 億 2,820 万円	1 億 2,040 万円	6.5%
企 業 会 計	7 億 1,785 万 1 千円	7 億 1,157 万 4 千円	0.9%
水道事業	6 億 6,263 万 2 千円	6 億 5,748 万 7 千円	0.8%
電気事業	5,521 万 9 千円	5,408 万 7 千円	2.1%
合 計	104 億 8,015 万 1 千円	109 億 4,527 万 4 千円	△ 4.2%

平成 29 年度重点事業

(単位：千円)

区分	事項別	事業名	事業の内容	事業費	
社会資本を整備する事業	道路新設改良事業	村道整備事業	道路改良工事（大谷～大須賀津、土屋） 道路改良工事（土屋、信太、興津、見晴、大須賀津）	新規 2 路線 継続 5 路線 (村単独事業)	145,930
		排水整備事業	排水整備工事（布佐）	新規 1 路線 (村単独事業)	
		法面補強	法面補強工事（大谷）	新規 1 路線 (村単独事業)	
	下水道事業	公共下水道事業	管渠布設工事ほか		457,215
生活を応援する事業	子育て支援対策事業	児童手当	児童の健全な育成及び資質の向上に資する		247,620
		子育て広場事業	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所として開設し、子育てについての相談、情報提供、助言等の支援を行う		9,557
		ファミリーサポート事業	子どもの預かり等の援助を行いたい者と援助を受けたい者からなる会員組織を設置し、預かり等を行う		3,408
		利用者支援事業	教育・保育施設や地域子育て支援事業等の利用について情報収集・相談・助言を行い、関係機関との連絡調整等を行う		2,711
	医療給付事業	妊産婦医療費助成	少子化対策、子育て支援策の一環として、県の医療福祉制度の所得制限により、非該当となった妊産婦に対し、県制度と同額の医療費の補助を行う (村単独事業)		960
		こども医療費助成	中学 3 年生までの子どもの医療費の全額を助成することにより、医療機関の適切な受診を促進し、健康の保持を図る (村単独事業)		16,968
	保健予防推進事業	予防接種事業	感染の恐れがある疾病の発生及びまん延を予防するため予防接種を行い、公衆衛生の向上及び増進を図る (村単独事業)		35,145
		母子保健事業	母性並びに乳幼児及び幼児の健康の保持及び増進を図るため、保健指導、健康診断、医療、その他の措置を講じる（妊産婦の健康管理事業、子育て支援、子どもの健康管理事業、不妊治療費助成事業）		17,090
		健康診断事業	村民の生活習慣病の予防、疾病の早期発見及び早期治療を図るため、各種健康診断を行うことによって、健康増進に寄与すること（総合健診・婦人科検診・骨粗鬆症検診） (村単独事業)		29,294
		任意予防接種事業	高齢者肺炎球菌、大人の風しん、子どもインフルエンザ、おたふくかぜの予防接種希望者への費用助成を行う (村単独事業)		3,440
交通弱者対策事業（デマンド交通）	交通弱者対策事業（デマンド交通）	公共交通の廃止や減少に伴い、自家用車を運転しない高齢者等の外出の利便性を確保し、地域での生活を容易にするため、デマンド型乗合タクシー（やまゆりタクシー）を運行する (村単独事業)		14,183	
産業振興事業	農林水産業振興事業	産地づくり助成事業	本村農業の本来あるべき姿の形成に向けて、生産者の所得の安定と米価を維持、確保しながら農業生産額の向上を図る		52,800
安全・安心のための事業	交通安全施設整備事業	ガードレール、標識等の整備・修繕	交通事故防止のため、道路標示、カーブミラー、ガードレール等の交通安全施設を整備する (村単独事業)		1,213
	防犯対策事業	防犯灯設置等、防犯カメラ新設工事等	防犯灯及び防犯カメラの整備により住民の安全安心を確保する (村単独事業)		9,814
	特定空家対策事業	特定空家調査委託料等	住民の生命や財産を保護するとともに、空き家バンク制度と連携し、空家等の活用を推進する (村単独事業)		2,274
	災害対策事業	幹線アンテナ変更工事等	災害に強い情報連携システムのアンテナ改修工事 (村単独事業)		34,313
	宅地耐震化推進事業	大規模土地造成変動予測調査	大規模盛土造成地を抽出し、滑動崩落のおそれを調査、1 次調査の結果を公表し、必要に応じて 2 次調査を行う。		3,046
教育振興を図る事業	T T 配置事業	T T 配置事業	小学校または、中学校に※ティーム・ティーチング（TT）のための非常勤講師を配置し、きめ細やかな指導の実践により学校教育の充実を図る (村単独事業)		8,860
	教育クラウド事業（小・中学校）	教育クラウド事業（小・中学校）	教育系システムについてクラウド化を実施し、「児童・生徒」のために、最適な学校 ICT の環境を再整備する (村単独事業)		39,750
地域活性化事業	定住促進事業	定住促進事業	村内に定住を目的として住宅を取得し、固定資産税が賦課された者に対して、定住促進奨励金を交付することにより、村外からの移住による人口の増加及び村民の定住促進を図る		8,300
	ふるさと応援寄付金事業	ふるさと応援寄付金事業	本村を応援する個人又は団体からの寄附金に対する謝礼として本村特産品を進呈する (村単独事業)		12,054
	地域公共交通確保対策事業	地域公共交通確保対策事業	実証実験をスタートした稲敷エリア広域バスについて、運行継続と路線定着に向けての利用促進の実施を行う (村単独事業)		5,500

※ティーム・ティーチング（TT）とは複数の教員が役割を分担し、協力し合いながら指導計画を立て、指導する方式

補正予算

補正予算を可決

今回の補正予算は、歳入歳出全般にわたり現計予算の見直しを行い、主に事業費が確定したものと及び見込みがつかないものの調整、緊急を要する事業の補正を行いました。

会計名			補正額	予算総額	
一般会計			△1億278万9千円	63億4,342万3千円	
特別会計	国民健康保険		△1,270万2千円	22億3,149万円	
	農業集落排水事業		△834万6千円	1億7,094万4千円	
	公共下水道事業		2,464万6千円	9億7,373万3千円	
	介護保険		9,770万9千円	10億7,600万円	
	後期高齢者医療		652万8千円	1億2,692万8千円	
企業会計	水道事業	収益的	収入	△1,170万円	5億7,914万2千円
		支出	△977万2千円	5億7,091万1千円	
	資本的	収入	140万円	346万3千円	
		支出	△394万7千円	9,848万8千円	
	電気事業	収益的	収入	600万円	1億476万5千円
		支出	44万5千円	5,453万2千円	

平成29年第1回臨時会は、2月27日に開催されました。今回の臨時会では、工事請負変更契約の締結についての1議案が提出され、審議の結果、原案のとおり可決されました。

平成29年
第1回臨時会

議案	議案内容
工事請負変更契約の締結について	<p>【目的】 美浦村地域交流館建築工事</p> <p>【金額】 648万円増</p> <p>【相手】 松浦・細谷特定建設共同企業体</p> <p>【工期】 平成29年3月17日まで</p>

平成29年第1回臨時会議案・審議結果一覧

会期：平成29年2月27日

議案番号	件名	議決結果	賛否数		議員名														
			賛成	反対	松村 広志	竹部 澄雄	葉梨 公一	小泉 嘉忠	塚本 光司	岡沢 清	飯田 洋司	山崎 幸子	椎名 利夫	下村 宏	林 昌子	小泉 輝忠	石川 修	沼崎 光芳	
1号	工事請負変更契約の締結について (美浦村地域交流館建築工事)	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※議長（沼崎 光芳議員）は、可否同数のとき以外は表決に加わりません。
※「○」は賛成、「×」は反対、「-」は欠席を表します。

茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員に 山崎幸子議員が再任

茨城県後期高齢者医療広域連合の議会議員として、構成する全市町村議会から各 1 人議員を選挙するもので、本村議会からは指名推選による選挙の結果、山崎幸子議員が再任されました。

●●●● その他の議案と審議内容 ●●●●

区分	議案	議案内容
条例改正	美浦村情報公開条例の一部を改正する条例	情報公開を請求できるもの以外のものに対する、任意的な情報提供を明確化するための改正
	美浦村職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、育児休業の対象となる職員の子の範囲を拡大する改正
	美浦村特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	村税等徴収嘱託員の報酬額の一部改正と、別表 1、別表 2、別表 3 を所管課毎に並び替えるための、別表の全部改正
	美浦村税条例等の一部を改正する条例	「社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための地方税法及び地方交付税等の一部を改正する法律等の一部を改正する法律」の施行により、消費税率引き上げの実施時期が延期されたことによる、法人税割の税率引き下げ期日の変更、軽自動車税環境性能割の創設等による村税条例の改正
	美浦村地域交流館条例の全部を改正する条例	教育委員会に子育て支援を担当する課を設置したこと、指定管理にかかわる規定の見直し等、多くの修正を要する箇所があったため、全般的に見直し全部を改正
その他	村道路線の廃止・認定について	開発区域内の付け替え道路の整備と、県道バイパス整備による旧県道の村への移管のため、一旦全路線を廃止し、現況に合わせ認定する
	公の施設の指定管理者の指定について 地域産品直売所（地域交流館みほふれ愛プラザ内）	【指定管理者】茨城かすみ農業協同組合 【指定期間】平成 29 年 4 月 1 日から 平成 32 年 3 月 31 日まで

平成 29 年第 1 回定例会議案・審議結果一覧

会期：平成 29 年 3 月 6 日～ 3 月 17 日

議案番号	件名	議決結果	賛否数		議 員 名														
			賛成	反対	松村 広志	竹部 澄雄	葉梨 公一	小泉 嘉忠	塚本 光司	岡沢 清	飯田 洋司	山崎 幸子	椎名 利夫	下村 宏	林 昌子	小泉 輝忠	石川 修	沼崎 光芳	
発案第 1 号	美浦村政治倫理条例の一部を改正する条例	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1 号	村道路線の廃止について	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2 号	村道路線の認定について	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3 号	美浦村情報公開条例の一部を改正する条例	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4 号	美浦村職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5 号	美浦村特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6 号	美浦村税条例等の一部を改正する条例	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7 号	美浦村地域交流館条例の全部を改正する条例	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8 号	公の施設の指定管理者の指定について	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9 号	平成 28 年度美浦村一般会計補正予算 (第 8 号)	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10 号	平成 28 年度美浦村国民健康保険特別会計補正予算 (第 4 号)	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11 号	平成 28 年度美浦村農業集落排水事業特別会計補正予算 (第 4 号)	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12 号	平成 28 年度美浦村公共下水道事業特別会計補正予算 (第 5 号)	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13 号	平成 28 年度美浦村介護保険特別会計補正予算 (第 4 号)	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14 号	平成 28 年度美浦村後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 1 号)	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15 号	平成 28 年度美浦村水道事業会計補正予算 (第 5 号)	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16 号	平成 28 年度美浦村電気事業会計補正予算 (第 1 号)	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17 号	平成 29 年度美浦村一般会計予算	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18 号	平成 29 年度美浦村国民健康保険特別会計予算	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19 号	平成 29 年度美浦村農業集落排水事業特別会計予算	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20 号	平成 29 年度美浦村公共下水道事業特別会計予算	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21 号	平成 29 年度美浦村介護保険特別会計予算	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22 号	平成 29 年度美浦村後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23 号	平成 29 年度美浦村水道事業会計予算	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24 号	平成 29 年度美浦村電気事業会計予算	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25 号	平成 28 年度美浦村一般会計補正予算 (第 9 号)	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長（沼崎 光芳議員）は、可否同数のとき以外は表決に加わりません。

※「○」は賛成、「×」は反対、「-」は欠席を表します。

学習支援について



い い だ よ う し
 飯 田 洋 司
 議 員

質問 近隣市町村では、学習支援として、国より補助を受け毎週開催しているようだが、本村の対応は。



答弁 (教育長) 教育委員会としても、学習支援は重要と考えている。このため、来年度新規事業として、補助事業を活用した「地域未来塾」事業

を計画し、年間を通した子どもたちの学習支援に取り組んでいく。

質問 学習支援に加え、特別な教育的支援を必要とする、家庭教育の支援について対処は。

答弁 (教育長) 学習支援に加え、家庭教育支援も重要と考えている。地域社会全体で支え合うため、新規事業で補助を活用した「訪問型家庭教育支援事業」に取り組んでいく。

電子母子手帳について

質問 電子母子手帳導入は、考えているか。

答弁 (保健福祉部長) 全国自治体でも徐々に導入しているところが増えており、厚生労働省でも、医療等分野における標準化や共通ICTインフラを整備する方針であるので、本村も国の動向や近隣の活用状況を参考にして検討していきたい。

質問 各種証明書、住民票のコンビニ交付の対応を伺う。

答弁 (総務部長) コンビニ交付は、全国5万店のコンビニエンスストア等の端末を活用し、マイナンバーカードを利用することで、閉庁時間や区

電子母子手帳



- ① 予防接種も成長記録も簡単!
- ② 自治体からのお知らせが届く
- ③ 家族と成長を共有できる

住民票のコンビニ交付について



域を超えて各種証明書を簡単に取得することができるサービス。参加した自治体の例を見ると、システム改修コストなどで千7百万円から、戸籍証明書交付になると4千万円のコストがかかる。本村のマイナンバーカードも千3百名、8%くらいの登録状況で、費用対効果が非常に悪いという課題があるが、国も平成31年度まで特別交付税措置で後押ししてくれるので、検討チームを立ち上げ、調査・検討し平成31年度までには、導入したいと考えている。



一 般 質 問

地域「互助」による連携強化へ



まつむら ひろし
松村 広志
議員

の取り組みがより求められる。
本村の意向を伺う。

【答弁】（総務部長） 時代の趨勢（すうせい）を受け、全国的な動きとして住民自身による「自分たちでできることは、自分たちでやる」との動きが始まっている。住民どうしの繋がりが自主性が、より大事になってきている。国側からも、地域運営組織等の設置が推奨されており、本村でも各ボランティアや商工会等と連携を行っているところである。これからも持続可能な行政運営に向け、村民と一体となって取り組んで参りたい。

【質問】 北海道の自治体で行われたシンポジウムが注目されている。これは、国連が掲げた「SDGs」持続可能な社会・誰も置き去りにしない、との理念を基調とした、地域発の地方創生への取り組みである。いま、社会保障制度は、量的・質的に大きな転換点を迎えている。人口問題をはじめ要因は多岐に亘る。これままで当然のように依存出来た保障制度等に対し、私達一人ひとりの意識転換が迫られている。従来の自・共・公助に加え、これからは住民どうしによる、普段からの助け合い「互助」

き、新生児への虐待に至る事例が出てきている。国が助成する産後ケアについて、本村の意向を伺う。

【答弁】（保健福祉部長） 産後うつは、十人に一人が経験する、と言われてしている。本村ではこれまで「赤ちゃん（新生児）訪問」を行い、ケアに努めてきた。国の助成には「産後ケア事業」の導入が求められる。条件や財政的状况も踏まえ検討したい。

き、新生児への虐待に至る事例が出てきている。国が助成する産後ケアについて、本村の意向を伺う。

産後うつ・虐待防止等の助成について

【質問】 出産後の母親が、育児ストレス等から産後うつを招



地域交流館の活用について

【質問】 今月（3月）オープンする地域交流館「みほふれ愛プラザ」は、地元産品の直売

や、子育て支援の拠点として大きく期待されている。その一方で、高齢者や障がい者の活用が見えてこない、と言う声がある。この交流館は、本村の発展へのシンボルであり、希望である。より多くの方々に親しまれ、有効利用されることを望む。子供達の健やかな成長は村の宝である。同時に、これまでに村を築き支えてきた高齢者の方の知恵と経験も、かけがえのない財産である。その事を活かしながら、高齢者の方が柔軟に活用できる場となることを強く望む。
本村の意向を伺う。

【答弁】（保健福祉部長） 当該交流館には、多世代交流スペースや研修室も備えている。利用については、いつでも誰でも分け隔てのない、自由でリラックスできる空間を、目指している。高齢者はもとより、住民主体の活用のもと後押しして参りたい。

「いじめ」対策の取り組みについて



たけべ すみお
竹部 澄雄
議員

質問 児童会・生徒会が、いじめ防止の取り組みを主体的に活動できるように支援しているのか。

答弁 (教育長) 「いじめの防止」を村内全ての教職員が自らの問題として受け止め、取り組むべき重要な課題であると考え取り組んでいる。児童会・生徒会が中心となり、自主的な活動を各学校で実施している。

質問 児童・生徒に特定の「行動・態度の様式」や「価値観・規範意識」を身に付け

させる道徳教育を実施し、「いじめ」等をテーマにした父兄参観授業を実施しているか。

答弁 (教育長) 各小学校で、思いやり・親切・正しい心・勇気・考え方の違いなどをテーマにした「道徳の公開授業」を実施。また、道徳時間に加え「命の大切さ・思いやり・親切・信頼・友情」についても大切に指導している。きちんとした指導が出来るよう、教職員のスキルアップの研修などを実施している。

質問 いじめ防止及び根絶のための基本方針を保護者及び地域住民に周知徹底し、年間活動について保護者、地域住民の意見を取り入れて活用しているか。

答弁 (教育長) 「美浦村い

じめの防止・根絶のための基本方針」を策定し、基本方針に基づき活動している。保護者に対しては「いじめ」に対する考え方や対応について説明し、保護者アンケートなどで意見をとり入れている。中学校では、青少年育成美浦村民会議の方々の授業公開、意見交換等で貴重な意見をいただいている。基本方針は美浦村のホームページに掲載している。

災害時の消防団の防災活動について

質問 災害時の被害把握のため「ドローン」「オフロードバイク」「小型消火ポンプ」を各都道府県の消防学校に配備し、訓練に活用すると総務省消防庁が発表した。美浦村消防団はこの訓練を活用するのか。

答弁 (総務部長) 新たに導入される訓練は、茨城県消防学校、いなほ消防署の指導協

力を得て、消防団訓練に取り入れるよう調整する。

質問 災害時、美浦村に在住する外国人を支援する為に、どのような避難対策を指導しているのか。

答弁 (総務部長) 村で配布しているハザードマップは日本語版しかない。茨城県国際交流協会が発行する外国人向け災害マニュアルを役場住民課に備え、外国語通訳もボランティアで募集し、毎年開催される防災訓練にも外国人の参加を呼びかける。

質問 防災訓練の参加人数を増やす為に、どのような対策を検討しているか。

答弁 (総務部長) 毎年、実施している地震・土砂・降雨等の体験を充実し、多くの住民の参加を呼びかけるように努力する。



一 般 質 問

公共施設の老朽化対策、財源は？



お か ざ わ き よ し
岡 沢 清
議 員

質問 公共施設等総合管理計画の策定状況は。

答弁 (総務部長) 平成28年度に策定。計画期間は平成29年度から38年度までの10年間。対象施設は、全公共施設169施設。

計画の内容は、すべての公共施設の更新の費用の算定、人口構造の変化を踏まえた村民ニーズの対応、公共施設の老朽化への対応、厳しさを増す財政状況への対応。

質問 所有公共施設の現況は。

答弁 (総務部長) 建物系の施設で築30年末満の建物は全体の42・1%、老朽化が懸念される建物は57・9%。橋梁については、平成35年以降は耐用年数を超える橋梁が増大し、更新の需要が増大する。

水道については、将来の維持更新計画を定めた水道事業ビジョンを策定する。下水道については、今後の方向性を明らかにする経営戦略を策定した。

更新の財政措置は。



質問 更新の財政措置は。

答弁 (総務部長) 国は公共施設等の適正管理計画に要する経費について、財政計画の額を増額し、長寿命事業に対して地方財政措置を拡充、それらの財政措置を活用したい。

児童館について

児童館について

質問 平成26年当時、児童館の利用児童一人当たりの占有面積が国基準を満たしていなかった。現在の状況は。

答弁 (教育次長) 大谷・木原では国基準を満たしていなかったが、現在では、国基準の面積の解釈が見直されている。遊戯室のほか、児童クラブ室、集会所といった、児童が実際に占有して使用する部屋も面積基準に算定され、現在は国基準を満たしている。

各小学校の児童数が減少傾向にあり、入会児童数も減っている。利用者数を見極めな

がら、安全安心な居場所の確保を定めていきたい。



質問 児童館に関して保護者・児童からの意見・要望は。

答弁 (教育次長) 利用児童の114人からは、いつも楽しいが50人、楽しいが29人、普通が30人、あまり楽しくないが3人、楽しくないが2人だった。

保護者からは、児童館が狭い、建物も暗い、駐車場の外灯が暗い、遠足などの行事は希望者全員を参加させてほしい等の要望。児童館運営協議会を通して、対処したい。

美浦村通学交通基金について



はやし 昌子
 議員

設の議案を提出する。

質問 具体的な使用計画があるのか。

質問 「通学交通基金」の「教育支援基金」への移行計画はあるのか。

答弁 (総務部長) 教育支援基金を新たに創設し、基金をそちらに積み立て、教育関係の事業に有効活用したいと考えている。

質問 既存の条例廃止と新条例の制定が必要と考えるが、いつごろとお考えか。

答弁 (総務部長) 平成29年6月の定例議会に、既存の基金の廃止と教育支援基金の創

質問 具体的な使用計画があるのか。

答弁 (総務部長) 本村が重点的に推進しているICT事業、特に機器の入れ替えの際には多額の費用が必要になる。

もう一つは学校給食施設の問題、給食センターを建設するにしても、既存の給食施設の改修をしても多額の経費が必要。こうした財源に活用したいと考えている。

質問 本来の基金の目的である高校生の通学に関する支援の検討が必要と考えるが、どのようにお考えか。

答弁 (総務部長) 土浦や江戸崎方面へはJRバス、PTAが運行するスクールバス、

龍ヶ崎方面へはNPO法人が運行する通称「パンダバス」が運行されており、便数等十分とは言えないが、通学の足は確保されており、新たな支援は現在のところ考えていない。

自転車通行空間の整備について

質問 自転車が通ってもよい道路として許可されている、自転車通行空間が確保されている箇所はどこか。

答弁 (経済建設部長) 歩道で自転車も通行してよい自転車歩行者道は、大谷地内のトレセン入口信号から美浦トレーニング・センター、役場前から大谷小学校の間、県道大山江戸崎線的美浦ゴルフ倶楽部入り口から大山バス停近くの区間となっている。

質問 自転車を含む交通事故発生場所は、安全確保のため

早期整備が必要であると考えるが、今後の整備計画箇所は。

答弁 (経済建設部長) 村では車道の拡幅、排水施設整備、歩道整備を優先していることから、現状では自転車道の整備については考えていない。

質問 矢羽根型や、通称「通行表示」のようなやり方も検討すべきと考えるが村長はいかがお考えか。

答弁 (村長) 矢羽とかグリーンラインで、安全を促すことができるということであれば、早急に検討して、安全対策としてやっていきたい。

通行表示



矢羽根型





一 般 質 問

地域産品直売所について



塚本 光司
つかもと こうじ
議員

質問 ①地域産品直売所の運営を正式に茨城かすみ農協に任せるのか。②地域産品直売所の運営工程表は示せるか。

③村商工会青年部有志が地域産品直売所に関わる様だがその内容は。④地域産品直売所を見据えてのコンサル業務委託の現在までの予算と、今後の関わりはいつまでか。

答弁 (経済建設部長) ①特

命での指定管理者の指定を進めている。今定例会に議案を上程。②茨城かすみ農協では、初年度からの黒字経営は厳しいと考えている。

指定管理料は3年間の基本協定書を締結。別途年度別協定書を締結。平成29年度は7百万円を限度に赤字補填をする。初年度の来客数は、1日250人、年間売上7千6百万円を見込む。

答弁 (総務部長) ③商工

会青年部有志を中心に株式会社づくり美浦を3月3日設立。美浦村の6次化商品の販売、ネット販売を担う。④6千53万300円の事業費の91%を各種交付金で賄えた。全ての事業が地方創生の交付金の活用事業。平成29年3月でコンサル業務は終了。

村職員採用と人事について

質問 ①現在における村職員の正規と非正規の割合②新規

採用時の基準③中途採用の基準④専門職の人数は。

答弁 (総務部長) 正職員

163名、非常勤特別職7名、非常勤一般職69名、臨時職員4名。割合は、正職員7非正規3。②年齢の上限が40歳までの者、高等学校卒業程度以上の学力を有する者、ただし学歴を問わず。専門職は、業務に必要な資格を保持か年度内に取得見込みの者。③新規採用は4月1日付け採用のみ、年度途中での採用はなし。中途採用が新卒者以外の者を指すのであれば、新卒者と同じの基準、同一の試験を受けてもらい、採用を決める。④専門職職員45名。

質問 過去5年間の、民間会

社経験者の採用人数は。

答弁 (総務部長) 過去5年

間では、新規採用33人のうち新卒以外23人。

質問 多さにビックリしている。村長に伺う、故事成語に「季下に冠を正さず」という言葉があるが仮に、村に少なからず影響力のある様な人物の親戚の者が面接試験まで辿り着いた場合、どの様に面接の対応をとるのか。

答弁 (総務部長) 村長をはじめとし人事部局の者で採用の判定委員会をつくる。また、茨城県の統一の試験を受けてもらう。面接も先の体制にて判定する。

答弁 (村長) 美浦村を望んで来た方には、美浦村をどれだけ理解してくれているか、村民の為の奉仕者として自分がどんな考え方を持っているかが最低限必要。議員の皆さんが地域を思い、村政の為にご尽力している事と相通するものと思う。

議会運営委員会
 視察研修報告

【視察日】

平成29年1月26日～27日

【視察先】

○東京都西多摩郡日の出町議会

○東京たま広域資源循環組合
 「二ツ塚廃棄物広域処分場」

○埼玉県北葛飾郡杉戸町議会
 ○常総国道事務所「首都圏中央連絡自動車道常総IC建設地」

【視察目的】

本村議会で積極的に推進している「議会改革」、また、現在協議中である江戸崎地方衛生土木組合の新焼却炉建設工事、次回統一地方選で村長選挙と村議会議員選挙を同日に行うために計画・検討している議会の自主解散についての先進地視察を目的とする。

【視察内容】

1日目は日の出町議会の議



日の出町議会議場にて

会改革についてである。
 日の出町議会は、平成23年から地方分権に相応しい議会、開かれた議会の創出のため、二元代表制の機能を十分に発揮するべく、議会全般にわたり調査検討を行うことを目的とし、「議会改革特別委員会」を設置し、2年にわたり調査を行い、議会の組織・構成、議会運営、開かれた議会と住民参画、議会機能などについて審議されたとのことであり、その結果についてご教示いただいた。

次に、日の出町にある「二ツ塚廃棄物広域処分場」に場所を移し、処分場及び同所内にある施設の見学を行った。

国内最高水準の設備・システムを備えた管理型の最終処分場で、徹底した安全管理が行われており、焼却灰の資源化・有効利用を図るため、工コセメント事業を平成18年度に開始したことにより、二ツ塚処分場の埋立期間が延長できると試算しているなどの説明をしていただいた。

2日目は、杉戸町議会の自主解散についてである。

杉戸町議会は、平成27年8月9日執行予定の埼玉県知事選挙に併せて町議会議員選挙も同日に執行できるよう、平成27年7月6日開催の臨時会において「議会の解散に関する決議」を全会一致で可決し、同日、平成27年9月10日の任期満了を待たずに議会を自主解散した。その後、埼玉県知事選挙と町議会議員選挙を同

日に執行した。この自主解散について、スケジュールや課題、確認及び決定すべき事項などご教示いただいた。



杉戸町役場にて研修

最後に、平成29年2月26日開通予定の首都圏中央連絡自動車道の常総IC建設地を視察し、工事概要や開通により関東各地の観光地へのアクセスが向上すること、沿線の大規模物流施設で生産性の向上が加速することなどの説明をしていただいた。

この2日間が大いに実りある研修だったことを申し添え報告とする。

当日参加者からいただいたご意見・ご要望と回答の一部をご紹介します。



参加者

Q 視察研修の報告について

視察に行ったときに、その市町村が素晴らしいことをやっているということはよくわかるんですが、美浦村ではどうなんだということが足りないような気がしますが。

10月20日に視察を実施しまして、今現在検討中です。視察の結果を踏まえてどういうものを作っていくというのが、まだ固まってない時期ですので、結果が出ましたらご報告いたします。



議員



参加者

Q 村内の展示ホールについて

みほふれ愛プラザには展示ホールがあるのでしょうか。なぜかという、今、公民館の展示ホールは文化祭の時も目いっぱいにかざれないんですよね。とすれば、今回新しく作ったみほふれ愛プラザになぜ展示ホールが抜けているのでしょうか

図面に展示ホールは明記されておりませんが、2階ホール部分をいろんな形で活用したいと検討しております。研修室とか多世代交流サロンにおいても展示ホールの設置やイベントなどの事業展開ができるように働きかけていきたいと思えます。



議員



参加者

Q 介護事業について

介護事業の介護支援に参加する人を増やしたいのか、介護費用をできるだけ少なくするために事前に止めたいのか、その辺をどうとらえているのか。

やはり健康寿命、介護費用を使わないで健康で長生きできる、そのシステムを構築することが今とても重要であるということは、執行部も議会も共通見解で調整しているところです。その中で、執行部の出前講座、やまゆり運動教室もご活用いただけたらと思えます。



議員

議員活動

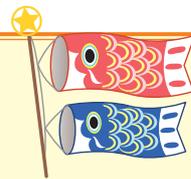
2月	1日	神栖市議会視察研修受け入れ	
	2日	平成28年度青少年健全育成茨城県推進大会 美浦村農業再生協議会	
	3日	地方自治研究会 6次化商品試食会	
		美浦村社会福祉協議会理事会・評議員会	
	8日	全国町村議会議長会第68回定期総会 都道府県会長会議 全国町村議員会館臨時評議員会 関東町村議会議長会会長会議 稲敷地方広域市町村圏事務組合議会全員協議会 茨城県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会	
		9日	美浦村地域活性化対策検討委員会
		10日	江戸崎地方衛生土木組合議会全員協議会 農業委員会定例会 第3回議会報告会リハーサル
		11日	第3回美浦村議会報告会
	12日	稀勢の里横綱昇進祝賀会	
	13日	茨城県市長会自治功労者表彰式 市長会・市議会議長会・町村会・町議会議長会打合せ いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会実行委員会	
		14日	第21回木原城山まつり実行委員会役員会
	15日	龍ヶ崎衛生組合議会全員協議会 美浦村教育論文表彰式並びに村教育研究会発表会	
	16日	茨城県町村自治功労者表彰式	
	20日	稲敷郡・龍ヶ崎市・牛久市・稲敷市社会教育委員連絡協議会第2回研修会	
	21日	茨城県町村議会議長会平成29年第1回臨時会 茨城県町村議会議員自治研究会	
		茨城県後期高齢者医療広域連合議会定例会 県行政書士会新春交流会 稲敷地方広域市町村圏事務組合議会定例会	
	23日	美浦村地域公共交通会議 美浦村子ども・子育て会議 龍ヶ崎衛生組合議会定例会 美浦村地域自立支援協議会第2回会議	
		江戸崎地方衛生土木組合議会定例会 美浦村高齢者福祉計画・介護保険事業推進委員会 美浦村国民健康保険運営協議会	
	26日	美浦村防災訓練 首都圏中央連絡自動車道(境古河IC～つくば中央IC)開通式 ジョイナスみほ体操フェスティバル	
		議会運営委員会 議会全員協議会(予算内示会) 平成29年第1回美浦村議会臨時会	
28日	美浦村健康づくり推進協議会 第21回木原城山まつり実行委員会		
3月	1日	6次化商品試食会 美浦村認定農業者の会交流会	
	3日	例月出納検査	

3月	6日	議会定例会 地方自治研究会 広報公聴委員会	
	7日	総務常任委員会 経済建設常任委員会	
		厚生文教常任委員会	
	9日	議会全員協議会	
	10日	美浦中学校卒業式 地域交流館みほふれ愛ブラザ視察 議会全員協議会 農業委員会定例会	
		11日	東日本大震災6周年追悼・復興記念式典
		13日	予算審査特別委員会
	14日	議会定例会	
	15日	予算審査特別委員会	
	16日	美浦幼稚園卒園式	
	17日	各小学校卒業式 議会定例会	
		18日	第48回柔剣道美浦大会(柔道の部)
	21日	美浦村人材育成推進協議会 保育所修了式 江戸崎地方衛生土木組合出納検査 青少年育成美浦村民会議第3回理事会・幹事会 あいさつ声かけ運動 青少年育成美浦村民会議意見交換会	
	25日	美浦老連3月期輪投げ大会	
	26日	地域交流館みほふれ愛ブラザ竣工式	
27日	美浦村社会福祉協議会理事会 例月出納検査 茨城県都市計画審議会		
30日	美浦村シルバー人材センター理事会		
31日	人事発令通知書交付式		
4月	1日	ライオンズクラブ20周年記念式典	
	3日	人事発令通知書交付式	
	6日	春の全国交通安全運動キャンペーン	
	7日	各小学校入学式 地方自治研究会	
		9日	第21回木原城山まつり
	10日	美浦中学校入学式	
	11日	美浦幼稚園入園式	
	14日	広報公聴委員会	
	15日	平成29年「桜を見る会」	
	20日	平成29年「春の園遊会」	
23日	陸平をヨイショする会総会		
24日	江戸崎地方衛生土木組合出納検査		
25日	例日出納検査		
27日	平成29年度市町村長・市町村議会議長会議 美浦トレーニング・センター厩舎改築工事竣工披露宴		
28日	県南町村議会議長会		

次回定例会は、6月6日(火)開会予定です。

議会を傍聴してみませんか

- 役場3階の議場まで新設のエレベーターでお越しいただけるようになりました
- 役場1階のロビーでも本会議の実況をご覧になることができます
- 会議録や議会だよりなどホームページに掲載しています
- 議会だよりについてのご意見・ご要望をお待ちしています



お問い合わせ先
議会事務局
☎ 029-885-0340 内線 301・302
E-mail gikai@vill.miho.lg.jp
URL <http://www.vill.miho.lg.jp/gikai/index.htm>

議会広報公聴委員会

委員長	山崎 幸子	副委員長	岡沢 清	委員	椎名 利夫
委員	飯田 洋司	委員	塚本 光司	委員	小泉 嘉忠
委員	葉梨 公一	委員	竹部 澄雄	委員	松村 広志